

国鉄「分割・民営化」阻止！三里塚二期着工粉碎！

5.17 三里塚へ総決起せよ

権力・当局・動労革マルの

組織破壊攻撃粉碎

5・17三里塚現地集会まであと一週間と迫り、各支部も全力動員体制を組み日々奮闘している。この5・17三里塚闘争への大結集こそ、新会社における新たな労働運動を構築するうえでの突破口になるのだ。二十年間三里塚農民と連帯し、築き上げてきた労農連帯の原点にもう一度たちかえり、5・17三里塚全国総決起集会へ全組合員が結集することを訴える。

二十二年間闘い続ける

5・17三里塚闘争は、今秋二期本格着工を粉碎するうえで最も重要なたたかいである。そもそも今日の三里塚闘争は、一九六六年、当時の佐藤内閣により農民の意思を全く無視して決定された。そこに自分の土地が有り、営農し、生活を営んでいる農民に対し、国家暴力をもって襲いかかり、たたき出そうとする理不尽な攻撃に「農地死守」「実力闘争」を掲げ決起したのが始まりであった。そしてこの三里塚農民のたたかいは、二十二年目を迎えた今も二期工事を阻止しつづけるというたたかいを続け、勝利に向かって前進しているのだ。

反対同盟

すなわち、一九七八年の津山大会で動労中央が出してきた「三里塚と一線を画す」なる反動方針と対決し、翌七九年三月三〇日に動労革マルの敵対を粉碎し分離独立をかちとり、さらに一九八一年三月には、「ジェット燃料貨車輸送阻止」を掲げ五日間のストライキを貫徹した。右傾化する労働運動の中で、自分達の利益のためだけでなく、より広い見地に立ってたたかう以外に労働者階級の勝利はないことを、労農連帯を貫くことよってしめしたのだ。

5・17で組織破壊攻撃粉碎へ

日帝・中曾根体制が、体制的危機にあえぎ、その突破をかけて三里塚空港二期工事を暴力的に強行してきている中で、5・17三里塚闘争は極めて重大なたたかいである。と同時に、当局・鉄道労連一体となった差別・選別の強制配転攻撃を打破り、国鉄労働運動の戦闘的再生をちとつていくうえで、動労千葉・動労総連合の三里塚への断固たる登場は決定的に重要である。

動労千葉

この三里塚農民の素晴らしいたたかひに対して、動労千葉は、二十二年間共にたたかひ、その中から労働者としていかに生き、たたかうべきかを学び取り、全組合員の強固な団結を築いてきた。権力・当局・動労革マルの組織破壊攻撃を、5・17三里塚闘争の大勝利で粉碎せよ。

全組合員・家族の強固な団結で組織破壊攻撃を粉碎せよ！